



# 泗水小だより



泗水小学校  
学校だより No31  
文責 芹川博文  
12月15日(金)

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 泗水小」

## 「壁」を挑戦に「問題」を成長に ～2023を味わい、2024を思い描く～

僕はプロになってから928回も三振していて  
打たれたヒットの数は647で  
ホームランは59本打たれ  
しかも失点数は全部で281  
チャンスで506回凡退して  
ケガで692日間も投げられなくて  
試合に負けて泣いた日もたくさんあったし  
二刀流が無理だと言われたことは数えきれない  
でも、二刀流が無理だと思ったことは一度もない  
失敗の数だけ、僕たちは成長できる  
次の世界へ

※2023(3月)WBC時のコマーシャルより

大谷翔平は、花巻東高校の佐々木洋監督から  
教えてもらった「先入観は可能を不可能にする」  
という言葉に胸に、高校生の時点で163kmと  
いう目標を設定したそうです。

先入観で「無理だ」と思い込みがちなこと、  
「見方・考え方」を変えることで「できるかも」  
という感覚になり、成長への転換が始まります。

壁や問題が立ちはだかったように見える状況  
でも、それを挑戦と捉え、成長の機会にするため  
に、転ばない技術も大切ですが、転んでも起き上  
がる力を身に着けたいものです。転ぶことが怖  
くなくなると、安心して思いっきり走れると思  
います。

あと1週間で冬休み。2023年を振り返り、  
2024年を具体的に思い描き、「こんな自分  
になりたい」という1年後の姿を考えるひと時を、  
子どもたちに持ってほしいと願います。

## 「将来の夢へのステップを考える」

「小さな一歩が、きっと夢につながっていく」  
一つの体験から自分を見つめて綴った6年生の  
吉田 咲桜 さんの素敵な作文(熊日新聞「若者コ  
ーナー」に掲載)を紹介させていただきます。

### 「勇気を持って堂々と発表を」

夏休みに水族館へ行き、セイウチやアシカな  
どのショーを見ました。セイウチがボールを鼻  
にのせたり、アシカが飼育員さんの投げたフラ  
フープを首に通してキャッチしたりしていま  
した。とてもすごかったです。

でも、一番すごかったのは飼育員さんです。  
大勢の人の前で堂々としゃべる姿がとてもか  
っこよかったです。

私は、学校の授業で発表するのがとても苦手  
です。間違っていないか、変なことを言ってい  
ないかなど、人の目がとても気になります。

私の将来の夢は水族館のトレーナーです。動  
物とかかわったり、みんなを楽しませたりする  
仕事です。水族館に来てくれたみんなを笑顔に  
したいのです。だから、これからは、人前でも  
堂々と発表できるようになりたいです。

そのために、今後学校生活の中でも、少しで  
も多く発表できるように、勇気を持って手をあ  
げたいと思います。まずは、班で話すときに積  
極的に自分から話していこうと考えています。

小さな一歩がきっと夢に繋がっていくと信じ  
ています。この夏、水族館に行けて、自分の将  
来の夢へのステップを考えることができ、本当  
に良かったです。

## 心をそろえる 響き合う「空気」

～5年生の音楽の授業から感じたこと～

5年生の音楽の授業  
で、素敵な「空気」を  
味わいました。8つの  
楽器で1つの曲「キリ  
マンジャロ」を奏でる  
真剣な表情。音をそ  
ろえようと、心が一つ  
になる瞬間。「最初はバラバラだったんですよ」と、  
高橋先生は目を細めて笑顔で言われました。



あと3か月あまりで卒業を迎える6年生。そし  
て、バトンを受け継ぎ、最上級生になる5年生。  
心をそろえる彼らの姿が頼もしく見えました。

## この冬「読書」のひと時を

～読書量が大幅アップの泗水小～



11月の図書の貸出冊数が3,491冊と、昨  
年度の2,669冊を大きく上回ったという嬉しい  
ニュースが聞こえてきました。委員会活動や、  
読み聞かせなどの効果も大きいと感じます。

冬休みは、一人、5冊借りることができます。  
この冬は、読書を楽しむひと時を、是非ご家庭で  
味わってみられてはいかがでしょうか。